

# 平和誓い 被爆アオギリ植樹 県職員連合労組

平和への願いを新たにしよう。

よつと、県職員連合労働組合は22日、広島市に投下された原爆で被爆したアオギリの2世の苗木を、徳島市万代町の県職員会館の花壇に植樹した。

被爆アオギリは1945年8月6日、爆心地から約1・3キロの旧広島通信局の中庭で被爆。原爆の熱線や爆風で傷ついたが翌年から芽吹き、市民に復興への勇氣と希望を与えた。広島市は平和の尊さを伝えるため、種から発芽させた2世の苗木を各地に配布している。

この日の植樹には、同労組の森本佳広委員長ら約20

人が参加。穴に苗木を植えて土をかぶせた後、じょうろで水やりをした。森本委



被爆アオギリ2世の苗木を植える組合員ら(徳島市で)

員長は「来年は原爆投下かさについて考えてほしい」  
ら70年。改めて非核の大切と話していた。